

FRONTIQUE JOURNAL

フロンティーク・デザイン 広報誌

2022 春

vol. 23

社会福祉法人元気寿会

尊厳を守り、コストも2分の1に

紙オムツ使わないケア

日本最大級の木造耐火建築
愛知県小牧市 社会福祉法人元気寿会
特別養護老人ホーム 幸の郷

CareColumn

人材確保に対する職場意識の変化
介護事業者・成功の方程式
雑用専門施設長になるな！

ラクウェアでシフト作成。

FRONTIQUE DESIGN Inc

ラクウエアをお使いの皆様による 介護経営のヒント

成功の方程式

前編

アグリマス株式会社
代表取締役・税理士 小瀧 歩氏



日本全国津々浦々、デイサービス、サービスタウン、高齢者向け住宅、訪問看護ステーション、接骨院、さらに変わったところでは、介護技能実習生受け入れの協同組合や、医療福祉の専門学校教員による理学療法士のキャリア教育、個別機能訓練加算に関するシステム開発、高齢者の終活支援の会社まで、周辺業界にも範囲を広げて経営者、マネジメント層のインタビュウを行ってきました。

今回は、医療介護事業者の成功の方程式について、考えてみたいと思います。

成功の方程式1「マネジメントチームは出来ているか」

医療介護の業界では、常々、マネジメントが不足していると言われています。そんな中で印象深かったのは、久留米の「いきいきりハビリケア」の深井社長と宮本常務のマネジメントチームです。お二人とも作業療法士であり、前職の病院勤務時からの長い付き合いで、お二人のキャラクターが見事に違います。イケイケの深井社長を、女房役の宮本常務がしっかりとサポートされる形で、1店舗、1店舗、店舗を増やし、組織をしっかりと作りながら、人材教育も行い、そして次の店舗の立ち上げに向けてチャレンジしていく。創業から1年に1施設を立ち上げるスピード感で、現在は12の施設を運営されております。

成功の方程式2「地方における大規模施設での展開」

首都圏では中々難しい展開ですが、地域にて大規模施設展開をして、圧倒的なNO.1の地位を築かれている事業者さんがいらっしゃいました。下関の「ホームケア彦島」の「レストランデイサービス海と空」は、その施設からは眼下に、関門橋、壇ノ浦、厳流島を望み、85人定員のデイサービス、午前の部、午後の部、1日型の3パターンがあって、概ね毎日100名の方々が通われています。海に見える施設内レストランで

は、プロのシェフが勤務していて、もはや高級割烹料理店と見間違えうほどのその料理は本当に圧巻、大規模施設で高利益率だからこそ出来るビジネスモデルだと感じた次第です。宮崎小林の「社会福祉法人ときわ会」、こちらでは元々、温泉施設を掘り出して、地域コミュニティの場としてスタート。少しずつ土地を取得しながら、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、通所介護事業所、グループホーム、ショートステイ、居宅介護支援事業所と事業を拡大していきます。その後、地域には商業施設や住宅なども増えてきて、現状では、域内で働く従業員、施設や温泉でのご利用者様を含めて1日で1000人規模の方々が活動する一大拠点となりました。



リーフレット「事業所の飲酒運転根絶取組強化!」(警察庁)より

どのようにチェックするの?

この規則は2段階で施行されます。

1段階…令和4年4月

●運転前後の運転者の状態を目視等で確認する

●酒気帯びの有無を記録し、1年間保存する

2段階…令和4年10月

●酒気帯びの有無の確認をアルコール検知器で行う

●アルコール検知器を常時有効に保持する

※詳しくは、「アルコールチェック義務化」で検索もしくはお近くの警察署にお問い合わせください。

アルコールチェックの記録用紙は決められたものではないので、各事業所で作成しなければなりません。

ラクウエアでは、「ドライバー」にてアルコールチェックを記録することができ、また印刷することも出来ます。一度ご利用下さい。

ラクウエアに関するご不明点は、フロンテイク・デザインまでお電話ください。

対象となる事業所は?
では、どのような事業所が対象になるのかと言いますと、
・1事業所に送迎車両が5台以上
・乗車定員が11人以上の車が1台以上
は、対象になります。

人材確保に対する職場意識の変化

社会保険労務士法人THINK ACT 代表社員 志賀弘幸氏
株式会社経営支援代表取締役
一般社団法人福祉経営総合研究所理事

「人手不足倒産」という言葉。

深刻な人口減少社会に追い打ちをかけるコロナ禍で施設経営も難しくなっています。「働く人がいないので受入れ人数を制限せざるを得ない、100%のサービスを提供できない」事態も発生しています。最近の報道では、コロナ禍の終息を見越し、一般企業は軒並み採用者数を増やす一方で、学生にとっては「売り手市場」になるとのことです。他の業界との人材獲得競争に対抗していかなくては、今以上に採用難の施設が続出することも否定できません。介護業界でもどのような対応をするべきなのか、今から真剣に議論する必要がある出てきています。

このような時代の中で、ここ数年、厚労省は介護業界に対していくつかの方向性を示しています。

- ① 少ない人材でも介護ができるように人員基準を緩和。（生産性向上）

- ② EIT機器やロボットなど機械等の積極的活用で身体的負担を軽減。（効率化促進）

- ③ 外国人に介護現場で頑張ってもらう（技能実習、特定技能）

コロナ禍の現在は③は難しいとしても、介護事業者は取り組める



ことから対応していく必要があります。①に関しては、介護事業には「人員基準」というものがありますので、基準を下回っての人員配置はできませんが、より少ないスタッフで現場サービスが提供できる体制を整えようとしている施設も増加傾向です。例えば、退職者が出て、すぐに求人広告を掲載せず、現状の残ったスタッフで仕事を何とか回そうという意識づけをしています。次第にスタッフの気持ちと行動に変化が生じ、少ない人数でも仕事は回るようになっていきます。②の効率化推進も最初は抵抗を示すスタッフもいますが、「なぜ効率化が必要なのか」についてしっかりと目的を説明し、最終的にはスタッフ自身の身体的な負担の軽減に繋がるということを丁寧に説明します。

先日、福祉を目指す高校生との懇談会がありました。そのときに高校生がどのような職場に興味があるかと質問しました。

- ① 最新設備のある職場

- ② ユニフォームがかっこいい職場

- ③ 休みが多い

だそうです。若い人材を採用する際の参考になればと思います。

日頃のケアで入院を防ぐ

河合が突撃取材！

社会福祉法人元気寿会
特別養護老人ホーム幸の郷



施設長川崎 勇太郎氏



介護施設の稼働率と高齢者のADLを下げると入院

入院者を出すことは、稼働率を下げる大きな要因の1つです。

また、数日間の入院でADL、IADLが大きく下がれば廃用症候群のリスクも伴います。

『予防できる可能性がある入院』を防ぐ。

中でも高齢者に多い尿路感染症を『紙オムツを使わないケア』で防ぐ取り組みをされている、愛知県小牧市の社会福祉法人元気寿会川崎様にお話を詳しく伺いました。



個々の排せつリズムに合わせたトイレ支援

この紙オムツを使用しない取り組みは入院リスクを下げるだけでなく、ご本人の尊厳も守り、施設のコスト削減、介護者の業務負担削減にも繋がっているようで、入居初期に排泄の周期などを把握しタイミングを見計らい職員が積極的に声をかけ、トイレ支援を行います。また、『トイレに行きたくないから（介護者の手を煩わせないように）に気を使い』飲み物を控えよう。』と考える高齢者は多く、尿量の減少や便秘の原因になっています。

そこで「トイレのお手伝いをするからお茶飲もうよ」と、職員が積極的に飲み物を勧め気持ちよく

同法人のデイサービスにてラクウエアをお使いの元気寿会さまの取り組みが高齢者住宅新聞に掲載されましたので詳しく伺っていました。



高齢者住宅新聞 2022年3月2日号

トイレ支援を行う事で、介助を頼みやすい雰囲気を作っているそうです。

こまめなトイレ支援は一見すると業務負担が増えそうですが、排泄リズムがつかめると失敗は少なくなりオムツを使用する場合よりも、着替えや清浄の手間が無いために負担が減るそうです。

また、施設は入居者様が自由に出入り出来る環境にしてあり散歩等に気軽に行ける事が運動不足も解消し自然なお通じを促す事にも繋がっているのかもしれない。

新しく入職される職員さんにも最初この取り組みをしっかりと理解して頂き、研修を行う事で法人全体が同じ価値観の基、取り組んでおられるとの事でした。

どの施設長も忙しく仕事をしています。それは業務が多岐にわたっているからなのですが、「それ、施設長の仕事？」と首をかしげることもしばしばあります。そこで施設長の仕事とは何なのか？をテーマとして数回にわたってお伝えしようと思います。

施設長の仕事

施設長にとって耳が痛い話になりますが、大切なことなので知っておいてほしいです。施設長は、送迎ドライバーがいなければ送迎要員になり、介護職員が休めば介護を、電球が切れたら電球を買いに走ったり・・・日々忙しく働いています。そのようななかで、すこし立ち止まって考えてみてください。今しているその仕事、施設長であるあなたが必ずやらなければいけないことでしょうか？たしかにそれも立派な仕事。大切なかもしれません。

しかし、施設長にはもっと大切な仕事があるんです。それは、施設の「売り上げ」、「スタッフ」、「物品」の管理をすることです。よく言われる「人・物・金」です。これを管

まとめ

施設長の仕事

売り上げ スタッフ 物品

管理

ラクウェアのシフト作成加配計算

「シフター」登場

今年度からラクウェアに新たな仲間が加わります。それは「シフター」といい、勤務表が簡単に作成できるアプリです。「なんだ、勤務表作成アプリか」と思われたかもしれませんが。しかし、侮ることなかれ。なる勤務表作成アプリではないのです。デイサービス運営しているといつて回るのが、加配とか常勤換算です。勤務表を作ったことのある方なら分かると思いますが、これがなかなかやっかいなものです。加配とは、利用者様の人数に対して介護スタッフを何人以上配置しなければならぬというものを数値化したものです。また、常勤換算は、中重度ケア体制加算やサービス提供体制強化加算に必要なもので、介護職員と看護職員をある一定の人数配置する際に必要な計算です。

介護スタッフの数が足りている施設はあまり気にする必要はありません。しかし、この人員不足の日本でスタッフが足りている施設はあまり多くはありません。また、求人を探すにすぐ来るような業界でもありません。全国の有効求人倍率は、1.20です。コロナ前に比べて落ちているはいますが、今年に入ってからまた徐々に上昇傾向です。これはすべての職種の倍率ですが、介護に限るとその3倍だとも言われています。そのような人員不足のなか加配を保ちながら勤務表を作成することは決して容易ではありません。スタッ

フの希望休や有休を聞きながら頭を悩まし勤務表を作り、そして加配表も同じようにエクセルで作る。作った加配表をみて加配が足りなかったら、勤務表に戻り修正。そしてまた加配表に帰って修正する。その作業を何回も繰り返しようやく完成した時にはどれだけ時間を費やしているでしょうか？残るのは疲労だけです。

そこで、ラクウェアの「シフター」の登場です。シフターでは、勤務表を作成するだけで加配表を作成してくれます。

もし、加配が足りなくても勤務表を変えるだけで自動で加配も計算してくれます。で行ったり来たりする必要はありません。また、厚生労働省が提供している勤務表参考様式（印刷物）にも準じているので、実地指導時でも安心して提出できます。今後は、さらに他のラクウェアのアプリと連携をしていき、使いやすくなしていきます。

この「シフター」を、ラクウェアをご導入されている事業所様に限り月額2200円（税込み）で使用する事が出来ます。「でも使ってみなければわからない。」と思われる方もいるでしょう。

そこで「シフター」の発売を記念して、既にラクウェアを使用している事業所様には**1年間の無料期間**を設けております。これを機に一度「シフター」を試してみたいかがでしょうか？

